

大谷、椎ノ木、高峰、丸町、牧山の高台地域に 地域循環バスを望む声

戸畑区日本共産党後援会「ユース



第36号

2012年7月発行

発行責任者
配川 寿好

北九州市戸畑区
天籟寺1丁目1番15号
Tel.873-3735
(部内資料)

■バス停に行くまでが「苦勞

高台暮しで、車を運転できない高齢者にとって、買い物や通院など、交通手段の確保はとても切実な問題です。

高峰の市営住宅で暮らすMさんは、毎日のように街中のスーパーまで買い物に行っていますが、バス停まで200メートルほど下らなければならぬし、帰りは荷物が入ら

■「外出がおっくうです」

最近下り坂を歩くとすぐに足が痛くなるので「外出する気がしない」と言うのは高峰のHさん。

「年金暮しでは、外出のた

■枝光（八幡東区）など5地域でお出かけ交通運行

びにタクシーというわけにはいかない。せめてバスがもう少し家の近くまで来てくれたら」と、バス停までの下り坂を指差しました。



枝光の地域循環バス

北九州市は、高齢者・障害者の外出を支援するため、「おでかけ交通」事業として、すでに9年前から事業を実施しています。

八幡東区の枝光の地域循環バスは、小型の車両を使って路線バスが入れないところでも、キメ細かく走ることができ

るのが魅力です。八幡東区の枝光の他に、八幡西区の木屋瀬・楠橋・星ヶ



た買い物カートを引っ張りながらきつい坂を休み休みのぼりま

戸畑区でも地域循環バス実現へ

北九州市議会議員 荒川 徹

移動手段がないために孤立し、日常生活がままならぬという、いわゆる「買い物難民」のことが全国で社会問題化しています。

戸畑でも高台に住む方々から、買い物や通院の足がなくて困るといふ声をしばしば聞きますが、本当に切実だと思

います。そうした声を受けて私は、戸畑区の高台地域でも、小回りのきく小型バスの運行を実現させようと、取り組んでいきます。実現のために、みなさん力を合わせて頑張りましょう。



西大谷二丁目

大庭妙子さん

身近なところを走ってくれる、地域循環バスの実現を強く期待しています。

丘地区、小倉南区の平尾台地区、同じく合馬・道原地区でも運行しています。

その他、試験運行が八幡東区の大蔵地区など、4つの地区で取り組まれています。

同じように、戸畑でも高台地域に地域循環バスを走らせませんか。



ヨイサ!

国会があまりにも異常です。税と社会保障という政治の中心問題で、密室談合の結果を問答無用で国民に押し付けることは、「独裁」政治以外の何者でもありません。増税に国民の六、七割が反対しているのに、民自公の三党が合意できたら強行するのであれば、国会の役割は否定されてしまいます▼私たちは「好き勝手やってくれ」と一票を投じたわけではありません。消費税増税こそが、景気をもっと低迷させ、次世代にツケをまわすことにほかならず、しかも社会保障は改悪というのがさらに問題です▼今緊急にしなければならぬ事は、どうすれば景気が良くなるか、雇用を確保し、年金だけでも暮らせるようにしていくための対策です▼党利党略に走る他党と違い、日本共産党は消費税に頼らない政策提言を発表しています。国家財政の無駄をなくし、富裕層にあたりまえの負担をせよというだけで大きな財源が生み出せること、国内経済の立て直しに重点を置いた政策を実行することでGDP（国内総生産）を増やして国の経済を豊かにするという、とても現実的な政策です▼この政策を実現すれば、暮らし向きが良くなるのですから、国民の願いを実現する共産党を大きくする以外、日本を変える道はないのではありませんか。



北九州市会議員 荒川 徹

『原発再稼働』について 市議会各会派の態度は？

意見書を市議会に提出しました。採決の結果、提案した日本共産党の10人と社民党系の議員の賛同にとどまり、否決されました。

市議会の状況は、このような国民世論に逆行しています。脱原発の声を、もっと大きく広げましょう。

北九州市議会は、6月20日に定例会を終えました。会期中の6月16日、政府は福井県の関西電力大飯原子力発電所を再稼働させることを決定しました。日本共産党市会議員団は、危険な原発再稼働に反対する

あれだけの重大事故を起こしている福島原発事故の原因も究明されておらず、事故の際の住民の避難計画もないなかでの再稼働は許されません。首相官邸前には、原発再稼働に抗議して全国から大勢の人が集まって、連日声を上げ

原発再稼働に反対する意見書

(日本共産党提出) ○賛成 ×反対

自民党	×
ハートフル (民主+社民)	△ (一部の社民党系議員のみ賛成)
公明党	×
日本共産党	○

戸畑への恩返しのため

橋崎 実さん (旭町在住 63歳)



橋崎さんは、若松で生まれ、戸畑の小・中学校を卒業し、高校在学中に東京に移りました。大学卒業後は、親戚が経営するスーパーマーケットの仕事をしていましたが、「故郷に恩返ししたい」との思いで、33歳の時に妻の実家がある戸畑に戻ってきました。

「やりたいことがありすぎて」と言う橋崎さんは、3年半前に勤めていた生命保険会社を定年退職すると、中国語を勉強したいとロングステイで中国・大連の学校に入学しました。

その時は、全寮制で行動を制限されることや食事が合わないことなどで、半年であえなく帰国しましたが、その後これまでの知識や経験を活かして地域社会と積極的に関わろうという『生涯現役夢追い塾』で学び、お年寄りの話をじっくり聞こうという『リスの会』のボランティア活動など、いろんなことに取り組んできました。世の中の複雑な変化のもとで、心に問題を抱えている人たちへのメンタルケアの必要性を痛感し、このほど『心理カウンセラー』の資格取得にむけて放送大学にも入学しました。

このところ、同じ政令市である福岡市に水をあけられている北九州市。1万2千人と言われる市内の在留外国人に、日本に対する親近感をもってもらえれば、市の浮揚にもつながるのではないかと、大谷市民センターで、中国から帰ってきた残留孤児や来訪者の日本語教室の講師としてボランティアで教えています。生涯現役をめざし頑張る、好奇心旺盛な人です。



地名に秘められた戸畑の歴史

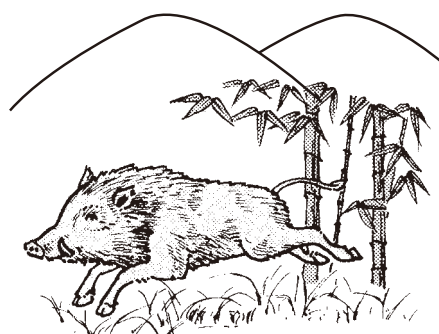
猪の坂

戸畑郷土史会会員 小石 善則

地名はまことに小さい存在であります。その一つひとつに土地の暮らしが息づいています。

う地名の「い」の言葉が省略されて長年の内に「いのさか」となってしまったのではないのでしょうか。

多分猪の坂は、中世の荘園時代には自然のままの山に囲まれ、さまざまな動物も生息していた地なのではないかと思えます。領主・地頭が狩猟を占有的に行うための猟区だったかもしれません。一般の農民はその場所で狩をする事は禁じられていて、そういう狩場のことを狩倉といいました。



その前提に立つと、「いのさか」は「いのさかい」だったのではないだろうかとも思えます。これは次の文に接して着想したものです。一、山野かりくらのさかいの事

中世の戸畑でも、三六山・堂ヶ峰・鞘ヶ谷を中心にしたしし狩が栄えていたのであるうと思われまます。いのさかと音で言っていたものに、狩場から連想して猪の字を後世あてたかもしれません。八幡東区清田町、県立八幡高校の山の手、西鉄バスの終点「猪倉」もいのししの狩場であったと思っております。

くすりのことなら 北九州保健企画(有)

戸畑区新池1丁目5-30
☎ 093-881-5554

恒例 第27回 ぶどう・なし狩り バスハイク

とき：9月2日(日) (予定)
詳しくは、873-3735へ

「猪」ではなく「一」のじが当てられるべきかもしれません。「一のさかい」がいつのまにか変化したものと考えられます。いのさかいとい

